

まち・ひと・しごと創生

越谷市総合戦略

～愛着と誇りをもてるまち「こしがや」を目指して～

進捗状況報告書

【平成29年度】

平成30年11月

越谷市

目 次

1	総合戦略進捗状況報告について	1
2	総合戦略の進捗状況	3
	(1) 体系図	3
	(2) 基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡 のとれた職住近接のまちをつくる	4
	(3) 基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む	9
	(4) 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	13
	(5) 基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる	17
3	総括	22

1 総合戦略進捗状況報告について

(1) 目的

本報告書は、まち・ひと・しごと創生越谷市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）の目標（平成 72（2060）年に約 29 万 7 千人の人口維持）や、まち・ひと・しごと創生越谷市総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた 4 つの基本目標（①安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる、②越谷の魅力年全国に発信し、人を呼び込む、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④安全、安心、快適に住める地域をつくる）の実現に向け、総合戦略に掲げる施策の着実な推進を図るため、実施した施策・事業の進捗状況を把握し、効果検証を実施することを目的としています。

(2) 総合戦略の進行管理について

総合戦略では、人口ビジョンから見えてきた課題を解決するため、一定の政策分野ごとの「基本目標」、さらに基本目標ごとに実施すべき施策を「具体的施策」として位置づけ、それぞれの内容に沿って目標値を設定し、これらを目安として進捗状況を把握しています。また、「今後検討していく施策」を掲げ、検討状況等を把握しています。

① 基本目標

「基本目標」では、4 つの基本目標に沿って、6 つの数値目標を掲げ、目標値に対する平成 29 年度の進捗状況を把握しています。

② 具体的施策

「具体的施策」では、13 の具体的施策に沿って、37 の重要業績評価指標（以下「K P I」という。）を掲げ、目標値に対する平成 29 年度の進捗状況を把握しています。

③ 今後検討していく施策

「今後検討していく施策」では、4 つの基本目標に沿って、15 の施策を掲げ、平成 29 年度の施策の検討状況等を把握しています。

(3) 報告書の対象年度

本報告書では、総合戦略の計画期間（平成 27（2015）～31（2019）年度）のうち、平成 29 年度の実績を示しています。

(4) 総合戦略の進捗状況

① 進捗率の算出方法

進捗率は、各数値目標やKPIが計画期間内にどのくらい進捗が図れたのかを分かりやすく示すため、次のとおり算出しています。

【算出式】

$$0\% \leq \left[\text{進捗率}(\%) = \frac{\text{当該年度現況値} - \text{基準年度現況値 (平成 26 年)}}{\text{目標値 (平成 31 年)} - \text{基準年度現況値 (平成 26 年)}} \times 100 \right]$$

この算出方法は、目標値（平成 31 年）までの出発点を基準年度現況値（平成 26 年）とし、進捗率が 0%からのスタートとなるため、各指標の成果を明確に示すことができます。

(例) 経営革新計画の承認件数

$$\text{進捗率} = \frac{73 - 28}{98 - 28} \times 100 = 64.3\% \text{となります。}$$

② 現在の進捗状況

KPIには数値として表れるまでに期間を要するものもあることから、現在の進捗状況については、進捗率だけでなく、これまでの取組状況等を加味しています。

2 総合戦略の進捗状況

(1) 体系図

人口の目標	4つの基本目標 (6つの数値目標)	基本的方向	13の具体的施策	37の重要業績評価指標 (KPI)の名称	具体的な事業	15の今後検討していく施策				
平成 72 (2060) 年に約 29 万 7,000 人の人口維持	【目標1】 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる 《数値目標》 市内事業所従業者数 市内総生産額	産・学・金・官の連携を図り、企業のライフステージに合わせた支援を展開することにより、既存産業の成長発展・持続的発展を推進するとともに、新たな産業の育成に取り組む	①地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る ②持続的に農業が行われる環境をつくる ③雇用対策の充実を図る	・経営革新計画の承認件数 ・創業を支援した件数 ・事業者交流イベントの参加団体数 ・市内駅前商店街の歩行者通行量 ・展示会出展件数、新たな企業連携に向けた商談中の件数 ・企業立地件数 ・農産物直売所における地場農産物の売上高 ・市内観光農園の来園者数 ・新規就農希望者（研修者） ・シルバー人材センター就業者数 ・セミナー等受講者数 ・若年者等就業支援事業における年間延べ相談件数	●産業活性化推進事業 ●創業者等育成支援事業 ●商店街活性化推進事業 ●中心市街地活性化推進事業 ●地域商業活性化推進事業 ●ものづくり産業等活性化事業 ●地産地消推進事業 ●高収益農業推進事業 ●農地利用集積事業 ●高齢者就業支援事業 ●職業能力開発支援事業 ●若年者等就業支援事業	○道の駅の整備 ○新たな流通・工業系土地利用 ○事業者の競争力強化・企業立地に対する支援及び相談体制の強化				
		商店会等が行う商店街活性化の取り組みや、魅力ある個店づくり、地域産業の育成を支援するとともに、中心市街地の活性化に取り組み、にぎわいと活力を創出する商業の振興を図る								
		本市の地理的特性を活かした企業立地を推進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図り、生活と産業の調和の取れたまちづくりを目指す								
		優良な農地を将来にわたり維持するとともに、地域の特性を活かした都市型農業を推進する。また、農業の振興が他産業の活力向上に貢献できる取り組みを推進する								
	【目標2】 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む 《数値目標》 越谷市に対して愛着を感じている市民の割合	市内にある地域資源を活かし、新たな価値（ストーリー）を加えた観光を推進するとともに、集客、交流、レジャーという視点による集客交流型観光の拠点づくりに取り組む	①にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る ②“こしがや”の情報を積極的に発信する	・観光客入込数 ・市内に立地する駅（東武スカイツリーライン・JR武蔵野線全駅）の1日平均乗降客数の合計 ・新たな都市型観光を確立するために実施するモニターツアー参加者 ・越谷市観光協会ホームページアクセス数 ・越谷市公式LINE（ライン）アカウントの友達人数	●観光推進事業 ●観光資源魅力創造事業 ●魅力発信事業 ●観光物産拠点施設整備事業 ●ホームページ・テレビ広報事業	○新たな都市型観光の推進 ○観光基盤の整備 ○広域連携における観光施策				
		2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、インバウンド観光に対応した新たな観光メニューの開発や人材の発掘・育成に取り組む。また、民間事業者と連携し、外国人観光客のニーズを捉えた効果的なプロモーションを実施する。								
		市民の愛着度（シビックプライド）に繋がる特色ある観光事業をはじめ、特産品や越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用並びに映画やテレビドラマなどのロケーション撮影を誘致するフィルムコミッションを推進する。また、観光・物産などの情報を発信する施設を整備し、市内外に“こしがや”の魅力を発信する								
		市民の愛着度（シビックプライド）に繋がる特色ある観光事業をはじめ、特産品や越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用並びに映画やテレビドラマなどのロケーション撮影を誘致するフィルムコミッションを推進する。また、観光・物産などの情報を発信する施設を整備し、市内外に“こしがや”の魅力を発信する								
	【目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 《数値目標》 20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合 合計特殊出生率	子育てに関する情報提供を充実し、地域で子どもを産み育てるサポート体制の取り組みを進める	①地域で子育てを支援する ④仕事と生活の調和を推進する ②子どもを育てやすい環境を整える ③生きる力を育む学校教育を進める	・乳幼児等健診受診率 ・子育てサロン利用者延べ人数 ・仕事と家庭生活の両立について何らかの配慮を行っている事業所の割合 ・待機児童数 ・保育年間カリキュラムにおける年間遊具使用保育時間 ・学童保育室施設数 ・将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合（小学6年生・中学3年生） ・エアコン設置整備率	●母子健康づくり事業 ●子育てサロン事業 ●ファミリー・サポート・センター事業 ●男女共同参画支援センター管理運営事業 ●若年者等就業支援事業 ●子育て充実事業 ●病児保育事業 ●保育ステーション事業 ●保育環境改善事業 ●学童保育室整備事業 ●小中一貫教育の推進 ●校内系ネットワーク運用事業 ●伝統文化を尊重し国際性を育む教育 ●小中学校施設空調設備設置事業	○妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援 ○男女の出逢いの場の創出 ○子育て世帯などを対象とした定住化促進に向けた施策の検討				
		保育ニーズに対応した施設等の整備を進め、待機児童の解消を図る								
		児童生徒の快適な学習環境を確保し、質の高い教育環境を整える								
		公共施設等総合管理計画に示された公共施設等の老朽化対策に基づき、市民との情報共有を図りながら、市民が公共施設等を安全で快適に利用できるよう計画的な公共施設等のマネジメントを行う					①公共施設等の適正な管理を図る ②地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する ③防災力・防犯力を強化する ④雨水災害の対策を進める	・アクションプランの策定率 ・主要な幹線道路の舗装改良率 ・橋りょうの耐震化率 ・夜間急患診療所の認知度 ・オレンジカフェ設置数 ・特別養護老人ホーム整備率 ・備蓄資器材の整備率の平均 ・災害情報管理システムと連携したホームページへのアクセス件数 ・公共下水道事業（雨水）整備率 ・ポンプ機器改修率 ・ポンプ場改築・更新率	●公共施設等総合管理事業 ●道路舗装事業 ●橋りょう耐震化整備事業 ●夜間急患診療所運営事業 ●市立病院運営事業 ●地域福祉ネットワーク推進事業 ●認知症総合支援事業 ●特別養護老人ホーム等施設整備事業 ●災害予防対策事業 ●自主防災組織育成事業 ●防災施設整備事業 ●防犯対策事業 ●排水路整備事業 ●応急対策事業（浸水対策） ●排水機場施設維持管理事業 ●公共下水道管路整備事業（雨水） ●公共下水道ポンプ場改修事業	○公共施設のマネジメント ○新保健センターの整備 ○介護人材の確保 ○空き屋の適正管理及び活用 ○地域公共交通網の充実 ○更なる治水対策の推進 ○道の駅の整備（再掲）
		市民が安心を実感して暮らせるよう、救急医療体制をはじめ、保健、医療の充実を図る								
		地域包括支援センターの充実、地域包括支援ネットワークの拡充により、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯なども安心して暮らせるまちを構築する								
	相互の助け合いや地域の連帯感をより一層高めるとともに、自主的な防災活動を積極的に支援する									
	災害時に迅速かつ適切な活動を実施するため、地域での自主防災組織の整備や人材の育成強化、要配慮者対策に取り組むとともに、防災訓練の一層の充実を図るなど、防災意識の高揚と防災力の強化を図る									

(2) 基本目標 1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

基本目標 1 では、2 つの数値目標、具体的施策に対する 12 の K P I 及び 3 つの今後検討していく施策を掲げています。また、具体的施策については、3 つの施策に分類し、施策①に 6 つの K P I、施策②に 3 つの K P I、施策③に 3 つの K P I を掲げています。

◆数値目標について

数値目標の進捗状況について、「市内事業所従業者数」及び「市内総生産額」は、経済情勢の影響を受けやすく、進捗率には表れにくい指標ではありますが、具体的施策の事業が着実に進捗しているため、目標の達成に向け、引き続き効果的な事業展開を図っていきます。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、6 つの K P I のうち計画通り進捗しているものが 4 つ、計画より遅れているものが 1 つ、平成 27 年度で終了したものが 1 つとなっています。そのうち、計画通り進捗している K P I として、「経営革新計画の承認件数」については、導入講座としてのセミナー開催や越谷市産業雇用支援センターでの経営相談、越谷商工会議所と連携した支援を行ったことにより、承認件数の増加が図られ、市内企業の経営計画の推進につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続するとともに、地域産業支援機関と連携した支援を実施していきます。また、その他の K P I についても、事業の継続、支援体制の強化やよりニーズにあった事業展開を行っていきます。計画より遅れている「創業を支援した件数」については、事業等に関する周知不足等により創業希望者の掘り起こしが進まなかったことから、今後は商工会議所や金融機関等と連携し、制度の周知及び創業希望者の発掘に努めていきます。

施策②の進捗状況については、3 つの K P I とも計画通りに進捗しています。そのうちの「農産物直売所における地場農産物の売上高」については、地場農産物の販売促進や学校給食での食材の活用、イベントでの P R 等を行ったことにより、地産地消への関心が高まり、売上高の増加につながったものと考えています。今後についても、その他の K P I を含め、引き続き事業を継続していくことで、着実に進捗が図れるものと考えています。

施策③の進捗状況については、3 つの K P I のうち、計画通り進捗しているものが 1 つ、計画より遅れているものが 2 つとなっています。計画通り進

捗している「シルバー人材センター就業者数」については、就業機会の確保のため、事業所や個人家庭へ積極的に訪問活動等を実施したことにより、就業者数の増加につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続していきます。計画より遅れているKPIとして、「セミナー等受講者数」については、昨年度実績値は上回ったものの、経済情勢や景気動向の好転に伴う有効求人倍率の上昇により、求職希望者が減少傾向にあることから、受講者数に影響したものと考えています。最新の就業支援スキルが習得できるよう今後も各種セミナーを検討していきます。また、「若年者等就業支援事業における年間延べ相談件数」についても、引き続き新規相談者確保のための周知に努めていきたいと考えています。なお、今後については、「職業能力開発支援事業」及び「若年者等就業支援事業」の連関性を持たせた「就職支援セミナー」の実施により、相互補完しながら事業を進めていきたいと考えています。

◆今後検討していく施策について

今後検討していく施策の検討状況については、3つの施策のうち1つが事業展開しています。事業展開している「道の駅整備」については、道の駅を設置するために「越谷市道の駅基礎調査業務委託」を行い、候補地や施設のコンセプト等の検討を進め、(仮称)越谷市道の駅基本構想の作成を行いました。今後については、基本計画の策定、用地取得、整備等の準備を進めていきます。

なお、他の検討中の施策については、関係機関との協議等を行いながら、引き続き諸準備を進めていきます。

◆まとめ

基本目標1については、12のKPIのうち、8つが計画通りに進捗し、3つが計画より遅れ、1つが平成27年度に事業終了しています。

数値目標については、進捗率にはあまり表れていない状況ではありますが、「安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる」という目標の達成に向け、様々な取組や手法を講じ、より効率的で効果的に事業を展開していきます。

基本目標1：安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

考え方：首都近郊という地理的優位性を活かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、賑わいと活力のある職住近接のまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	進捗状況		担当課	現在の進捗状況について (現況値に対する分析)	今後の見通しについて (目標値の達成見込み)
				現況値	進捗率 (%)			
市内事業所従業者数	人	120,000	116,916	110,758	0.0	産業支援課	平成28年度経済センサスー活動調査(確報集計)によると、110,758人で基準値に比べて6,158人の減少。	日本全体の経済情勢が指標に与える影響も大きいと考えられるが、引き続き雇用対策の充実や安定した雇用の創出などを図ることで、目標達成を目指す。
市内総生産額	百万円	864,317	778,776	813,551	40.7	産業支援課	埼玉県市町村民経済計算によると、813,551百万円で基準値に比べて34,775百万円の増加。 データ公表時期の関係で、年度のずれが生じるため、公表時点の最新データを当該年度の現況値とする。 H26基準値⇒H24年度市内総生産額 778,776百万円 H27現況値⇒H25年度市内総生産額 770,410百万円 H28現況値⇒H26年度市内総生産額 783,591百万円 H29現況値⇒H27年度市内総生産額 813,551百万円	日本全体の経済情勢が指標に与える影響も大きいと考えられるが、引き続き持続性のある産業を育成し、農業・商工業の活性化を図ることで、目標達成を目指す。

●具体的施策の重要業績評価指標(KPI)

《施策①》地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
経営革新計画の承認件数 (平成23年度からの累計)	件	98	28	73	64.3	産業支援課	計画通り	具体的な取組内容 経営革新計画の承認に向けた導入講座として、経営革新計画策定セミナー(全2回)を開催。 越谷市産業雇用支援センター二番館で経営相談を実施。企業支援コーディネーターが企業の計画経営に向け支援を行った。 H27年度13件、H28年度21件、H29年度11件 工夫した点 金融機関主催の「経営革新計画セミナー」と連携し、経営革新計画の普及・促進を図った。		引き続き、地域産業支援機関等と連携した支援を検討するなど、より効果的・効率的な経営革新計画承認に向けた支援を実施する。
創業を支援した件数	件	250	-	56	22.4	産業支援課	遅れている		セミナーやインキュベーション施設利用等の支援施策の周知不足等により創業希望者の掘り起こしが進まず、目標の年平均50件には未到達となった。また、アンケート集計により創業実績の調査を行っているが、より一層回収率を高め、実態把握に努める必要がある。H27(22件)、H28(20件)、H29(14件)	創業相談においては資金調達や創業計画作成等に関する支援が多く、質の高い相談内容となってきたと考えられる。引き続き、商工会議所や金融機関等と連携し、制度の周知及び創業希望者の発掘に努める。 創業後も含めた支援についても、引き続き商工会議所等と連携を図り、情報収集及びフォローアップに努める。
事業者交流イベントの参加団体数(平成27年度からの累計)	件	250	27	145	52.9	産業支援課	計画通り	具体的な取組内容 市内工業者の取引機会の拡大や新たなビジネスチャンスの創出を目的に、ビジネス交流会を実施。 H27年度46団体、H28年度57団体、H29年度42団体 工夫した点 交流会では、交流希望内容毎にグループ分けを行い、業態の現状と課題について意見交換を行う等、参加者の満足度が高くなる様工夫した。		参加者にとってより魅力的なビジネス交流会となるよう、内容の充実に努めるとともに、より効果的な周知方法等についても検討を行う。
市内駅前商店街の歩行者通行量	人	21,600	19,536	24,583	244.5	産業支援課	計画通り	具体的な取組内容 国・県の補助金を活用して設置した街路灯や防犯カメラの維持管理及び各商店会で実施された来街者増加を図るイベント等の実施に対して補助を行った。 工夫した点 商店街への情報提供を徹底し、イベント実施については運営支援も行った。		引き続き各商店会に対する補助金及び事業運営の支援を行う。また、商店会が支援に頼らない事業実施の実現に向けて組織や個店の強化を図る。 次世代の商店街組織を担う若手人材の育成を支援する。
展示会出展件数、新たな企業連携に向けた商談中の件数(H27年度)	件	10	-	-	-	産業支援課	事業終了			
企業立地件数(H27年度)	件	3	-	1	33.3	産業支援課	計画通り	具体的な取組内容 企業訪問、企業アンケート等による企業ニーズの把握 立地計画への関係機関調整に関する支援 関係機関との調整 H27年度に1件の立地が実現した。 工夫した点 企業や埼玉県企業立地課との意見交換により、企業立地に関する最新の動向を把握することに努めた 立地相談に対して、担当課がワンストップ窓口となり、関係部署との調整や関係機関への情報提供などを行った。		新たな産業用地の創出に向けて、関係機関と協議しながら、地元調整や地権者の合意形成を進める。 立地希望企業やゼネコン、ディベロッパーへのヒアリングを引き続き行い、企業ニーズの正確な把握に努める。 企業立地に関する支援制度の創設について検討する。 流通・工業系土地利用の推進と連携し、企業立地の円滑化を図る。

《施策②》持続的に農業が行われる環境をつくる

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
農産物直売所における地場農産物の売上高（平成17年度からの累計）	万円	210,000	118,967	198,963	87.9	農業振興課	計画通り	具体的な取組内容 地場農産物の販売促進、学校給食での食材の活用、イベントでのPR等により地産地消を推進している。		今後も引き続き、地場農産物の販売促進、学校給食での食材の活用、イベントでのPR等により、地産地消を推進していく。
市内観光農園の来園者数（平成23年度からの累計）	人	542,000	147,794	398,680	63.6	農業振興課	計画通り	具体的な取組内容 市内で採れる旬の果物を満喫できるよう観光農園マップを作成し、広く観光農園のPRを行うとともに、いちご関連イベントの開催や各種イベントにも参加した。		来園者は、年々増加する傾向にあり、平成29年度は約9万人となっている。引き続き、生産者・観光協会等の関係機関とより一層の連携を図る。また、評判は、口コミで広がることから、技術提供により品質を向上させ味の良さを追及し、顧客の増加を図っていく。
新規就農希望者（研修者）	人	4	—	2	50.0	農業振興課	計画通り	具体的な取組内容 新規就農・農業後継者を対象に2年間の研修を実施し、栽培に必要な知識・技術を習得させる。 工夫した点 研修終了後にスムーズに営農を開始できるよう、栽培技術の習得に加え、経営に関する講習を行った。		新規就農・農業後継者の育成に向け、2名の研修受講希望者に対し、2年間の研修を実施する。

《施策③》雇用対策の充実を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
シルバー人材センター就業者数（H23年度からの累計）	人	1,158,000	492,318	892,360	60.1	産業支援課	計画通り	具体的な取組内容 新規就業機会の確保 工夫した点 事業所や個人家庭へ積極的に訪問活動を実施。		今後も「会員の拡大」と「就業機会の確保」を重要課題として事業運営の拡大を支援していく。
セミナー等受講者数（平成23年度からの累計）	人	9,580	4,423	6,657	43.3	産業支援課	遅れている		雇用情勢や景気動向の好転という社会的要因に大きく左右され、有効求人倍率の上昇により常時求職希望者や雇用保険受給者（失業手当）の減少、人手不足に悩む中小企業への即時就職決定等も関係してか、セミナー受講者も激減している。（市民の就労→税収アップ→市・市民双方にとってはプラスのこと）	雇用情勢や景気動向に直面する問題であり、今後もしばらく（オリ・パラ終了後まで）は平成29年度実績同等の数値で推移するものと考えられ、単純な数値の積み上げでは判断できない。引き続き、最新の就職支援スキルが習得できるよう各種セミナーを検討していく必要はあるが、平成30年度からは「若年者等就業支援事業」との連関性を持たせた「就職支援セミナー」を実施しており、相互補完しながら事業展開したい。
若年者等就業支援事業における年間延べ相談件数	件	750	718	439	0.0	産業支援課	遅れている		同一人物による再相談が大きく減少したことによる延べ相談件数の減少と考える。しかしながら、新規相談者は92名（前年度91名）と増加しており、その実績は毎年上がっている。	雇用情勢や景気動向に直面する問題であり、今後もしばらく（オリ・パラ終了後まで）は平成29年度実績同等の数値で推移するものと考えられ、単純な数値の積み上げでは判断できない。引き続き、新規相談者確保のための周知に努めるほか、平成30年度からは現場キャリアカウンセラー自らが行う「就職支援セミナー」を実施しており、「職業能力開発支援事業」との連関性を持たせた内容とし、実績向上に努めたい。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	担当課	検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業課に向けての今後の見通し及び問題点等
道の駅の整備	道路建設課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 平成28年度に、道の駅を設置するための基礎調査、平成29年度には、整備コンセプトや候補地エリア等を選定し、(仮称)越谷市道の駅基本構想の策定を行った。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 道の駅整備事業の推進に向け、基本計画の策定、用地取得、整備の準備を進める。国・県における補助金等の活用や整備及び管理運営を含めた積極的な民間活力の導入の検討に取組む。</p>		
新たな流通・工業系土地利用	産業支援課 都市計画課	検討中		<p>関係機関・部署 埼玉県企業局、産業労働部企業立地課</p> <p>検討状況 地元説明会、地権者へのアンケート調査や意見交換会を開催した。アンケート及びヒアリングによる企業ニーズの収集を行った。企業ニーズを踏まえ、関係法令に関する調整、整理を行った。事業の実現に向けた関係機関との調整、関係法令に関する整理を行った。新たな産業団地整備の早期実現に向けて、専門組織を発足した。</p>	既存工業団地の拡張に向け、立地希望を有する企業や関係機関等との調整を踏まえ、地権者の合意形成を図り、円滑な企業立地を図る。新たな産業団地整備に向け、検討区域内の地元調整や地権者の意向把握を行うとともに、早期実現を図るため、専門組織を中心として、関係機関等との調整を行う。
事業者の競争力強化・企業立地に対する支援及び相談体制の強化	産業支援課	検討中		<p>関係機関・部署 こしがや企業応援プラットフォーム</p> <p>検討状況 こしがや企業応援プラットフォームと連携し、市内企業の経営課題や支援ニーズ等の把握に努めている。また、プラットフォームを構成する産業支援機関と、支援体制強化に向けた情報交換等を行うなど、どのような事業が考えられるか検討を行っている。</p>	プラットフォーム参加機関を増やし、連携体制の強化を図る。少しずつ連携は取れ始めているが、具体的な事業内容等について検討が必要であり、当面は、お互いの持つ企業支援施策を持ち寄り、緩やかな連携支援を行っていく。具体的事業実施時には予算措置なども課題となる。

(3) 基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

基本目標2では、1つの数値目標と具体的施策に対する5つのKPIを掲げています。また、具体的施策については、2つの施策に分類し、施策①に3つのKPI、施策②に2つのKPIを掲げています。

◆数値目標について

数値目標「越谷市に対して愛着を感じている市民の割合」の進捗状況については、具体的施策の事業が着実に進捗していることから9割を超える進捗率となっています。今後についても、目標の達成に向け、南越谷阿波踊りや越谷いちごタウンなどの観光資源を効果的に活用するとともに、こしがや愛されグルメ発信事業やフィルムコミッションによるプロモーションを実施していきます。また、観光物産拠点施設として整備した「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において、“こしがや”の魅力を発信していきます。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、3つのKPIのうち計画通りに進捗しているものが2つ、平成27年度で終了したものが1つとなっています。計画通り進捗しているKPIのうち、「観光客入込数」については、観光振興に関する包括連携協定を締結した(株)JTBのノウハウを活用し、地域資源のブラッシュアップに取り組んだことにより、入込数の増加が図られたものと考えています。今後についても、地域の魅力の掘り起こしや新たな観光コンテンツづくりに取り組むなどの事業展開を行っていきます。

施策②の進捗状況については、2つのKPIともに計画通りに進捗しています。「越谷市観光協会ホームページアクセス数」については、魅力ある観光コンテンツを適切なタイミングで提供したことにより、アクセス数の増加につながったものと考えています。今後については、必要な情報を効果的に発信していきます。また、「越谷市公式LINEアカウントの友だち人数」については、毎月のイベント情報等の配信に際し、写真や絵文字を多く使用し、見やすい内容での情報発信を行ったことにより、人数の増加につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続していくとともに、魅力ある情報の発信に努めていきます。

◆今後検討していく施策について

今後の検討していく施策の検討状況については、3つの施策のうち2つが事業展開しています。「新たな都市型観光の推進」については、(株) J T B との包括連携協定を踏まえ、観光資源調査を実施するとともに、大相模調節池の水辺を活用したエコイベント等を実施しました。今後についても、越谷レイクタウンの交流人口並びに豊かな水辺空間や食を活かした都市型観光を推進していきます。また、「広域連携における観光施策」については、徳島市や東北被災地3市との観光・物産交流を実施しました。今後についても、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」を集客・送客・交流の軸とし、特色ある観光施策を推進していきます。

なお、検討中である「観光基盤の整備」については、関係機関との連携を図りながら、引き続き検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標2については、5つのK P Iのうち、4つが計画通りに進捗、1つが平成27年度事業終了という状況にあります。数値目標については9割を超える進捗率となっていることから、「越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む」という目標の達成に向け、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をしていきます。

基本目標2：越谷の魅力在全国に発信し、人を呼び込む

考え方：新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで、交流人口の増加を目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	進捗状況		担当課	現在の進捗状況について (現況値に対する分析)	今後の見通しについて (目標値の達成見込み)
				現況値	進捗率 (%)			
越谷市に対して愛着を感じている市民の割合（「とても愛着がある」「愛着がある」と思う市民の割合）	%	50.0	0.0	46.6	93.2	観光課	民間調査会社の分析によると埼玉県内の地域への愛着度は最下位となるなど、首都近郊にあるまちでは、地域への愛着や誇りが足りないという課題がある。 平成27年度の市政世論調査から市への愛着度（シビックプライド）について、定点的に数値等を把握・分析している。 現在まで順調に進捗しているが、数値目標の達成のためには、既存事業のブラッシュアップや新規事業に戦略的かつ継続的に取り組んでいく必要がある。	市への愛着度（シビックプライド）の醸成のため、こしがや愛されグルメ発信事業を実施するとともに、越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用やフィルムコミッションの推進に取り組む。また、都市イメージ向上事業を新たに立ち上げ、ライフスタイル、いわゆる、“生活することの魅力・文化”をテーマにプロモーション展開する。 さらに、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」では、地方創生の視点を踏まえ、“こしがや”の魅力を内外に発信する。

●具体的施策の重要業績評価指標（KPI）

《施策①》にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
観光客入込数	人	58,000,000	52,935,926	58,282,514	105.6	観光課	計画通り	具体的な取組内容 市内の名所・旧跡をはじめ、四季折々のイベントや水と緑の豊かな水辺空間等の地域資源のブラッシュアップに取り組んだ。 工夫した点 観光振興に関する包括連携協定を締結した(株)JTBのノウハウ等の活用に努めた。		既存の地域資源のブラッシュアップに取り組むとともに、地域の魅力の掘り起こしや新たな観光コンテンツづくりなど都市型観光を推進する。
市内に立地する駅（東武スカイツリーライン・JR武蔵野線市内全駅）の1日平均乗降客数の合計	人	587,000	521,650	547,570	39.7	政策課	計画通り	具体的な取組内容 平成27年度より埼玉県東南部都市連絡調整会議観光専門部会において2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に併せたインバウンド観光施策について検討し、平成29年度に広域観光ガイドブックを作成し、埼玉県東南部圏域及び都内各所に設置した。 工夫した点 埼玉県東南部圏域だけでなく、多くの人の目に付くよう都内各所に設置した。		第4次越谷市総合振興計画、越谷市総合戦略、越谷市観光振興計画等に基づき、他自治体や民間事業者と連携しながら、地域資源の活用や魅力発信等の事業の展開及び推進をしていく。
新たな都市型観光を確立するために実施するモニターツアー参加者	人	20	—	—	—	観光課	事業終了			

《施策②》“こしがや”の情報を積極的に発信する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
越谷市観光協会ホームページアクセス数	件	180,000	144,000	183,901	110.8	観光課	計画通り	具体的な取組内容 花火大会やたんぼアートなどのイベント情報や桜や藤などの季節の花情報を適切なタイミングで提供した。また、ホームページの構成を「観光スポット・イベント」および「お知らせ」に整理し分かりやすい構成にした。 工夫した点 チラシ・ポスターなどの活用、各種メディアへの情報提供をあわせて行った。また、SNS（フェイスブック）での情報発信を強化した。		魅力ある観光コンテンツについて、必要な情報を適切なタイミングで効果的に発信する。
越谷市公式LINE（ライン）アカウントの友だち人数	人	7,000	—	5,127	73.2	広報広聴課	計画通り	具体的な取組内容 注目度の高いイベントや多くの方が気軽に参加できるイベントを中心に、週1回程度開催案内等を配信した。 工夫した点 写真や絵文字を多く使用し、見やすい内容にした。		今後も写真やスタンプを効果的に使用し、読まれる情報を配信していく予定である。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	担当課	検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業課に向けての今後の見通し及び問題点等
新たな都市型観光の推進	観光課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 (株)JTBとの観光振興に関する包括連携協定を踏まえ、農業体験等モニターツアーや観光資源調査を実施するとともに、レイクタウンの水辺を活用したイチゴのランニングイベントやピオトープ等でのエコイベントを実施した。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 越谷レイクタウンの交流人口を活かすとともに、5本の一級河川等の水辺空間並びに食や農を活かした都市型観光を推進する。</p>		
観光基盤の整備	観光課	検討中		<p>関係機関・部署 民間事業者</p> <p>検討状況 宿泊施設の誘致等</p>	民間事業者と連携した宿泊施設や二次交通をはじめとする公共交通などの観光基盤の整備を促進する。
広域連携における観光施策	政策課 観光課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 徳島市や東北被災地3市との観光・物産交流を実施した。また、日光街道埼玉六宿連携会議において、PR事業を検討した。 埼玉県東南部都市連絡調整会議において、5市1町にある観光資源の現状や課題を把握し、面的視点での観光振興、観光ネットワーク、自然環境を視野に入れた観光振興等を調査研究し、今後5年以内に実施することが効果的と思われる具体的なメニューを報告書として取りまとめた。また、東南部都市連絡調整会議では、平成29年度、インバウンド観光を対象とした広域観光ガイドブック「SAITAMA(サイタマ)RING(リング)ROUTE(ルート)」を発行した。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 徳島市や東北被災地3市並びに日光街道埼玉六宿等と広域連携事業を展開する。また、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において、集客・送客・交流を軸とした広域観光を推進する。</p>		

(4) 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標3では、2つの数値目標と具体的施策に対する9つのKPIを掲げています。また、具体的施策については、4つの施策に分類し、施策①に2つのKPI、施策②に3つのKPI、施策③に3つのKPI、施策④に1つのKPIを掲げています。

◆数値目標について

数値目標の進捗状況については、「20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合」及び「合計特殊出生率」は、具体的施策の事業が着実に進捗し、基準値と比べ、進捗率は上昇しているため、目標の達成に向け、今後も引き続き若い世代への結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行ってまいります。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、2つのKPIともに計画通りに進捗しています。「乳幼児等健診受診率」については、早産や体調不良等のために該当月齢で未受診にならないよう、4か月健康診査を4～5か月児に、10か月健康診査を10～11か月児に対象を拡大し、受診率の向上に努めています。また「子育てサロン利用者延べ人数」については、広報やホームページ等で周知を図ったことにより、利用者数の増加が図られたものと考えています。今後についても、引き続き周知に努めるとともに、利用者目線での事業展開を行ってまいります。

施策②の進捗状況については、3つのKPIのうち計画通りに進捗しているものが1つ、計画より遅れているものが1つ、平成27年度で事業が終了したものが1つとなっています。計画通り進捗している「学童保育室施設数」については、学校敷地内での単独施設の整備だけでなく、仮設教室の増設に併せて保育施設整備に取り組んだこと等により、施設数の増加が図られました。今後についても、将来的な児童推移を勘案し、整備事業を行ってまいります。計画より遅れている「待機児童数」については、民間による保育所等の整備を支援するなど定員拡大を図っていますが、女性の就業率の向上などによる保育ニーズの高まりから、待機児童の解消には至っていないため、引き続き、保育ニーズの高い地域への整備を支援するとともに、待機児童の大半を占める3歳未満児の保育ニーズを充足するため小規模保育事業所の整備を進め、既存施設の改修等による定員増、幼稚園の預かり保育の充実等を行ってまいります。

施策③の進捗状況については、3つのK P Iのうち計画通りに進捗しているものが2つ、計画より遅れているものが1つとなっています。計画通りに進捗しているもののうち、「エアコン設置整備率」については、P F I方式を用いて整備を行い、平成29年10月1日の引渡しをもって全小・中学校普通教室等への設置が完了しました。その他のK P Iについても、課題に即した支援等を進めていきます。また、計画より遅れているものとして、「将来の夢や目標を持っている児童の割合（小学6年生）」は、教員の指導法の改善や交流活動活性化等で取組みを推進していますが、将来の夢や目標を持つに至っていないため、教職員の意識や理解を高めるために、引き続き授業研究会や研修会等での啓発に努めていきます。

施策④の進捗状況については、K P Iが1つであり、計画通りに進捗しています。「仕事と家庭生活の両立について何らかの配慮を行っている事業所の割合」は、毎年の実績値の算出が困難なK P Iであるため、進捗率には表れてはいないものの、育児や介護等との両立支援のための各種講座の開催やチラシによる啓発活動により、過去の調査結果と比較すると割合が増加傾向であることから、今後も継続的に事業に取り組んでいきます。

◆今後検討していく施策について

今後の検討していく施策の検討状況については、2つの事業が事業展開しています。事業展開している「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援」については、妊娠期から子育て期にわたるまでの支援が可能になるよう、事業課が連携し、子育て世代包括支援センターを設置しました。また、同じく事業展開している「男女の出逢いの場の創出」については、埼玉県東南部都市連絡調整会議にて、平成28年度に引き続き「婚活」に焦点を置いた「婚活まんまるバスツアー」を実施しました。なお、その他検討中の事業についても、関係機関との連携や情報収集を図りながら、引き続き検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標3については、9つのK P Iのうち、6つが計画通りに進捗、2つが計画より遅れ、1つが平成27年度で事業終了となっています。数値目標については、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という目標の達成に向け、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をしていきます。

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

考え方：若い世代の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	進捗状況		担当課	現在の進捗状況について (現況値に対する分析)	今後の見通しについて (目標値の達成見込み)
				現況値	進捗率 (%)			
20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合（市民意識調査「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合）	%	65.0	60.0	64.0	80.0	政策課	平成26年度基準値と比べて増加傾向にあり、かつ昨年度からも増加していることから、20～39歳女性人口における『定住意向』は高まっていると考えられる。 (H27年度：57.2%、H28年度60.7%、H29年度64.0%)	目標値の達成に向けて着実に進捗していることから、今後とも若い世代へ子育てや学校教育等において切れ目のない支援を行い、「ずっと住み続けたい」と多くの市民に感じてもらえるよう、総合戦略に掲げる施策を推進し、目標達成を目指す。
合計特殊出生率		1.50	1.33	1.38	28.6	子育て支援課	過去5年間は1.22から1.38の間で増減している。	合計特殊出生率に直接影響するような施策はないのが現状であるが、様々な子育て支援施策を実施することにより目標値の達成を目指す。

●具体的施策の重要業績評価指標（KPI）

《施策①》地域で子育てを支援する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				平成29年度末現況	進捗率 (%)					
乳幼児等健診受診率	%	95.0	94.3	95.3	142.9	市民健康課	計画通り	具体的な取組内容 4か月児・10か月児健康診査は、生後2か月頃に予防接種予診票と一緒に送付し、医療機関で実施している。1歳6か月児・3歳児健康診査は、対象の前月に個別通知して集団健診を行っている。		早産や体調不良等のために該当月齢で未受診になることを配慮し、4か月児健康診査の対象を4～5か月児に、10か月児健康診査を10～11か月児に拡大した。
子育てサロン利用者延べ人数（平成23年度からの累計）	人	578,600	255,241	436,795	56.1	子育て支援課	計画通り	具体的な取組内容 広報、ホームページ、cityメールを用いて各種子育てサロンの開催内容等について周知を図っている。		今後も引き続き周知に努めるとともに、より利用しやすいサロンとなるよう、利用者目線での運営に努めていく。

《施策②》子どもを育てやすい環境を整える

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由（問題点や課題）	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
待機児童数（各年度4月1日）	人	0	29	43	0.0	子ども育成課	遅れている		民間による保育所等の整備を支援し、定員拡大に取り組んでいるが、女性の就業率向上などによる保育ニーズの高まりから、入所申請者が急増しているため、整備が追いついていない。	待機児童の大半を占める低年齢児の保育ニーズに対応するため小規模保育事業所の創設を図るとともに、既存施設の有効活用を目指し、保育所や認定こども園の改修等による定員増、幼稚園の預かり保育の充実等を図る。
保育年間カリキュラムにおける年間遊具使用保育時間	時間	1.05	1.00	—	—	子ども育成課	事業終了			
学童保育室施設数	施設	48	40	47	87.5	青少年課	計画通り	具体的な取組内容 待機児童が多く発生している越ヶ谷小学校と、利用者数が増加傾向にある川柳小学校に対して、学童保育室を追加整備した。 工夫した点 川柳小学校の仮設教室棟建設の際に、併せて学童保育室を仮設教室棟内に建設することによってコストを抑えた。 ※単独での建設コスト 35,000千円 ※仮設棟1室としてのコスト 18,000千円 ※削減できたコスト 17,000千円		待機児童が発生している学校区や、今後の利用者数が増加傾向にある学校区に対して、引き続き小学校敷地内スペースや転用可能教室を活用することによって施設数を増やしていく。

《施策③》生きる力を育む学校教育を進める

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
将来の夢や目標を持っている児童の割合(小学6年生)	%	95.0	89.3	88.0	0.0	指導課	遅れている		教員の指導法の改善や交流活動活性化などで取組自体は推進されてきている。しかし、学級単位で考えた際、各学級あたりあと2から3人程度、将来の夢や目標をもたせるに至っていない。小中一貫教育に関する教職員の意識や理解が高まりきっていないことが考えられる。	指導主事が、授業研究会や研修会における指導場面の際の指導内容等に入れていき、小中学校教職員の意識を啓発する。
将来の夢や目標を持っている生徒の割合(中学3年生)	%	80.0	72.0	75.4	42.5	指導課	計画通り	具体的な取組内容 小中一貫教育の研究委嘱を市内9校の小中学校に行うとともに、全45小中学校に研究指定を実施した。 工夫した点 研究指定に際して、指導主事が学校訪問を積極的・計画的に実施したことにより、中学校の授業改善が進み、小中間の交流活動も活性化し、生徒の自己肯定感が高まったと考えられる。		指導主事が各中学校ブロックの合同研修会や授業研究会へ引き続き積極的・計画的に参加していく。その際は「学力向上」「中一ギャップの解消」「自己肯定感の高揚」について各ブロックの課題に即した支援を進めていく。
エアコン設置整備率	%	100.0	-	100	100	学校管理課	計画通り	具体的な取組内容 全小中学校普通教室等へのエアコン設置及び既設エアコンの更新を行い、平成29年10月1日より稼働。		今後は、策定した運用指針に基づき適正な運用及び維持管理を行っていく。

《施策④》仕事と生活の調和を推進する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
仕事と家庭生活の両立について何らかの配慮を行っている事業所の割合(越谷市労働実態調査)	%	70.0	64.7	64.7	0.0	人権・男女共同参画推進課	計画通り	具体的な取組内容 働きながら育児や介護等の両立支援のための各種講座等を実施した。また、センター管理事業以外においても、事業者向けの啓発チラシを作成し、越谷市法人会を通じて市内事業者(約2,300社)に配布した。 工夫した点 講座事業では、市民向けだけでなく、事業者向けの講座を開催することで、企業に対する仕事と家庭生活の両立支援を推進した。		越谷市労働実態調査は、3年ごとの調査のため、基準値が平成27年度の調査結果となっている。平成24年度の調査結果では、52.2%となっていることから、着実に増加している。今年度の調査に向けて、引き続き事業内容を工夫しながら進めていく。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	担当課	検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業課に向けての今後の見通し及び問題点等
妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援	子育て支援課	事業展開済み	当時の検討過程等 市民健康課と連携し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のないサポートが可能となるよう、子育て世代包括支援センターを設置した。		
男女の出逢いの場の創出	政策課	事業展開済み	当時の検討過程等 埼玉県東南部都市連絡調整会議において、婚活に焦点をおいた「婚活まんまるバスツアー」開催に向け、各市町職員による検討会議や視察先の調整等を行い、平成29年3月4日に第1回婚活まんまるバスツアーを開催した。 また、平成29年度は開催方法等を検討し、10月28日に第2回婚活まんまるバスツアーを実施した。 今後の進め方や課題解決への取組み 平成30年度も引き続き実施するために、これまでの実施経過を踏まえて検討会議において開催方法や費用等を検討するとともに、参加者にとって魅力的であり、かつ埼玉県東南部圏域への定住を誘導できるような内容向上についても検討する。		
子育て世帯などを対象とした定住化促進に向けた施策の検討	建築住宅課	検討中		関係機関・部署 埼玉県住宅課 市長公室政策課 検討状況 埼玉県が実施する「多子世帯向け中古住宅取得・リフォーム補助制度」については、広報こしがやお知らせ版での記事掲載などを通じて既に市民向けの周知を行っており、今後も積極的に当該制度の利用促進を図るよう努める。併せて、次世代を担う子育て世帯などの定住化が促進されるような本市独自の施策について、引き続き調査検討を進めていく。	本市独自の施策を調査検討するうえでは、「どのような条件を設定して定住化促進の対象世帯を絞り込んでいくか」が基本的検討課題となる。したがって、県や類似自治体などによる先行事例の情報を数多く収集したのち、人口動態、費用対効果及び既存施策(県・市施策)との競合関係などを精査し、施策としての方向性を整理していく。更に、具体的に事業を展開するためには、全庁的な検討作業の過程や、予算措置を含めた事務執行体制の整備が必要不可欠である。

(5) 基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

基本目標4では、1つの数値目標と具体的施策に対する11のKPIを掲げています。また、具体的施策については、4つの施策に分類し、施策①に3つのKPI、施策②に3つのKPI、施策③に2つのKPI、施策④に3つのKPIを掲げています。

◆数値目標について

数値目標「今後も住み続けたいと思う市民の割合」については、具体的施策の事業が着実に進捗し、基準値と比べ、進捗率は上昇しているため、今後も引き続き具体的な事業に取り組むとともに、若い世代をターゲットとした施策を推進していきます。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、3つのKPIとも計画通りに進捗しています。そのうちの「主要な幹線道路の舗装改良率」については、良好な舗装状態を長期にわたり維持できるよう、路線における舗装組成を確認し、質的向上を図った工事の実施より、改良率の向上につながったものと考えています。今後についても、国庫補助金等を活用し、着実に事業を進捗していきます。

施策②の進捗状況については、3つのKPIとも計画通り進捗しています。そのうちの「夜間急患診療所の認知度」については、広報紙への掲載、啓発チラシの配布、自治会回覧等周知・啓発方法を工夫したことにより、認知度の向上が図れています。今後は、現在の周知・啓発に加え、ソーシャルメディアの活用等、若年層への効果的な周知方法についても検討していきます。

施策③の進捗状況については、2つのKPIとも計画通りに進捗しています。「備蓄資器材の整備率の平均」では、計画的に食料や生活必需品等備蓄資器材の整備を行うとともに、従来購入していた資器材の見直しを行い、費用対効果の高い資器材を購入したことで、割合が増加したものと考えています。今後も計画的に備蓄資器材の整備を図っていきます。また、「災害情報管理システムと連携したホームページへのアクセス件数」についても、迅速な情報伝達が行えるよう複数の情報伝達手段に一括で送信できるよう構築したシステムを利用し、利便性の高い情報提供に努めていきます。

施策④の進捗状況については、3つのKPIとも計画通りに進捗しています。そのうち「公共下水道事業（雨水）整備率」については、国及び県が実施する河川改修等の事業と連携し、雨水幹線整備を主体とした中長期的な対策と併せて、仮設ポンプの増設等といった短期的な対策を行うことで、浸水被害の軽減に努めています。

◆今後検討していく施策について

今後の検討していく施策の検討状況については、7つの施策（うち1つは再掲載）のうち3つ（うち1つは再掲載）が事業展開しています。事業展開している施策のうち「新保健センターの整備」については、市民の健康づくりや保健・医療・福祉の連携強化等といった地域保健の拡充を図るため、平成32年の供用開始に向け、実施設計等を行っています。また、「介護人材の確保」については、埼玉県立大学と共同して相談窓口を開設しました。今後については、越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会と協力し、職場環境の改善に取り組んでいきます。

なお、検討中の施策については、引き続き関係機関との連携を図り、事業展開に向けて検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標4については、11のKPIともに計画通りに進捗している状況にあり、数値目標についても着実に進捗していることから、「安全、安心、快適に住める地域をつくる」という目標の達成に向け、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をします。

基本目標4：安全、安心、快適に住める地域をつくる

考え方：だれもが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で的確な公共施設等の維持管理、②医療・保健・福祉サービスの充実、③防災力・防犯力の強化、などを旨とする

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	進捗状況		担当課	現在の進捗状況について (現況値に対する分析)	今後の見通しについて (目標値の達成見込み)
				現況値	進捗率 (%)			
今後も住み続けたいと思う市民の割合 (「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合)	%	75.2	72.6	73.7	42.3	政策課	平成26年度基準値と比べると増加傾向にあるが、昨年度と比べると0.6%減少している。(H27年度：73.4%、H28年度74.3%、H29年度73.7%) しかしながら、「ずっと住み続けたい」と思う割合は昨年度と比べて増加しており、『転居意向』が減少していることから、暮らしにある程度満足しているものと考えられる。(H27年度：32.5%、H28年度33.3%、H29年度33.7%)	年齢別に見て比較的『居住意向』の低い若い世代に「ずっと住み続けたい」と思ってもらえるように、基本目標3と併せて子育てや学校教育における切れ目のない支援を行うと共に、高い『居住意向』を示している他の世代に対しても、市に愛着と誇りを持ってもらえるように総合戦略に掲げる子育てや観光振興施策を推進し、目標達成を目指す。

●具体的施策の重要業績評価指標 (KPI)

《施策①》公共施設等の適正な管理を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由 (問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
アクションプランの策定率	%	100.0	-	0	0.0	公共施設マネジメント推進課	計画通り	具体的な取組内容 アクションプランの策定に向けて、施設のニーズ等の観点から庁内へ調査を行い、今後の各施設の方向性を定める検討材料として取りまとめた。 また、公共施設のあり方に対する市民の意見等を集約するため、13地区での意見交換会を開催した。		関係各課と協議を行いながら、引き続き、アクションプランの策定に向けて検討を進めていく。また、コストや稼働状況、修繕情報等を一元的に管理する公共施設マネジメントシステムにて、施設の分析・評価を行い、アクションプランを策定する。
主要な幹線道路の舗装改良率	%	47.6	38.9	46.0	81.6	道路建設課	計画通り	具体的な取組内容 良好な舗装状態を長期に維持できるよう、路線における舗装構成を確認し、質的向上を図った工事を実施している。 工夫した点 舗装の管理方針を検討し、メンテナンスサイクルによる舗装の長寿命化に向けた道路資産管理計画を策定を踏まえ、工法などの検討し積算を行っている。		引き続き国庫補助金を活用し、主要幹線道路における計画的な整備を実施する。
橋りょうの耐震化率	%	36.3	18.1	18.1	0.0	道路建設課	計画通り	具体的な取組内容 本市が管理している橋梁の耐震化については、緊急輸送道路指定の有無、架設年度及び上下部工構造形式などを評価項目として、耐震補強の順位付けを行い、耐震補強を実施している。 工夫した点 橋梁長寿命化修繕計画との整合性を図りながら、効率的な整備を実施していく。		引き続き国庫補助金を活用し、橋梁耐震化における計画的な整備を実施する。

《施策②》地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由 (問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
夜間急患診療所の認知度 (基準値はH24年度)	%	85.0	小児64.3 成人47.0	75.9	89.3	地域医療課	計画通り	具体的な取組内容 広報紙への掲載や、啓発チラシの配布、自治会回覧を実施している。		広報紙への掲載やチラシの配布等は引き続き行った上で、市内自治会への啓発チラシの回覧を行う。また、若年層の市民の認知度がそれ以上の年齢層より低く、広報活動の効果が比較的高齢者寄りに現れていると考えられるため、ソーシャルメディアの利用等、若年層の市民へ効果的に周知できる方法を検討、実施していく。
オレンジカフェ設置数	か所	3	0	2	66.7	地域包括ケア推進課	計画通り	具体的な取組内容 平成29年6月～補助金交付団体を募集した。補助金申請のあった団体は1団体あった。また、補助金は利用しないが、自主的に活動をしている団体は1団体あった。 工夫した点 オレンジカフェを実施している団体の調査訪問を行った。		団体の募集は随時行い、周知を図っていく。 自主的に行っている団体の調査訪問を行う。
特別養護老人ホーム整備率	%	1.80	1.23	1.4	29.8	介護保険課	計画通り	具体的な取組内容 平成27年度から29年度までを計画期間とする第6期事業計画において3施設229床の整備を促進し、平成29年6月には1施設29床、平成30年4月1日には2施設200床が開設した。 工夫した点 事業が計画的に進むよう、進捗管理を行った。		平成30年度では、200床分の整備事業者の公募を実施するなど、引き続き、計画的な整備に取り組んでいく。

《施策③》防災力・防犯力を強化する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
備蓄資器材の整備率の平均	%	97.5	80.0	91.4	65.1	危機管理課	計画通り	具体的な取組内容 備蓄資器材備蓄計画に基づき、備蓄資器材の購入を進める。 工夫した点 備蓄食料や、各資器材の価格が上昇する中で、従来購入していた備蓄資器材の見直しを行い、費用対効果が高い資器材を検討し、購入した。		今後についても、備蓄資器材の検証を行うとともに、過去の災害の事例を参考にしながら、緊急時に、より効果的に活用できる備蓄資器材の購入を進めていく。
災害情報管理システムと連携したホームページへのアクセス件数	件	12,000	—	64,296	535.8	危機管理課	計画通り	具体的な取組内容 平成29年8～10月の台風や、平成30年1～2月の降雪に対し、市民向けの注意喚起情報や道路の通行止め等の情報を、災害情報管理システムを通じて越谷Cityメール、ツイッター、ホームページへ発信した。 工夫した点 より災害時における効果的な注意喚起や、迅速かつ的確な情報伝達ができるよう、公開ページにおける画面構成等の改良を実施した。		今後についても、迅速な情報伝達を行うとともに、画面構成等の改善により、視覚的にもわかりやすい配信を行うなど、市民にとってより利便性の高い情報提供に努める。

《施策④》雨水災害の対策を進める

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		担当課	進捗状況	事業の具体的な取組内容や工夫した点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				現況値	進捗率 (%)					
公共下水道事業(雨水)整備率	%	67.3	66.4	66.5	11.1	治水課	計画通り	工夫した点 雨水幹線の整備は、多くの時間と費用を要することから、仮設ポンプの増設や常設化など、短期的な対策と併せて進めている。		引き続き、国および県が実施する河川改修等の事業と連携を図りながら、雨水幹線やポンプ施設を主体とした効果的な整備に取り組む。
ポンプ機器改修率	%	71.8	56.4	66.6	66.2	治水課	計画通り	具体的な取組内容 平成29年度には、ポンプ機器1基を改修した。 工夫した点 費用がかかるポンプなどの機器について、改修計画を策定し、事業費の平準化に努めるとともに、点検により判明した軽微な修理や部品の交換などにより、施設の延命化に努めた。		改修計画に基づき、ポンプ機器の改修を進めるとともに、日々の維持管理の徹底を図り、ポンプ施設の適正な管理に努める。
ポンプ場改築・更新率	%	18.2	—	9.1	50.0	治水課	計画通り	具体的な取組内容 平成29年度で越谷第一ポンプ場の改修工事が完了。また、御料堀ポンプ場改修工事実施設計を行い、平成32年度工事完了予定である。		事業を開始したポンプ場については、積極的な国庫補助金の活用を図るとともに、進捗管理の徹底に努める。 また、その他のポンプ場については、新たに国が定めた支援制度に基づき、下水道施設の維持・修繕及び改築に関する「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的に事業を進める。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	担当課	検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業課に向けての今後の見通し及び問題点等
公共施設のマネジメント	公共施設マネジメント推進課	検討中		関係機関・部署 営繕課、施設・インフラ所管課等 検討状況 施設の用途別に今後の公共施設の方向性を定めたアクションプランの策定に向けて検討を行っている。 また、公共施設のライフサイクルコストを削減するため、コストや稼働状況、修繕情報等を一元的に管理する公共施設マネジメントシステムを構築した。	関係各課と協議を行いながら、引き続き、アクションプランの策定に向けて検討を進めていく。 また、公共施設マネジメントシステムを用いて施設の評価・分析を行い、長寿命化、統廃合を含む施設の適正な管理を行う。
新保健センターの整備	地域医療課	事業展開済み	当時の検討過程等 市民の健康づくりや保健・医療・福祉の連携の強化など地域保健の更なる拡充を図るため、新たな保健センターを整備することが検討され、平成28年度に基本設計、平成29年度に実施設計等を実施した。 今後の進め方や課題解決への取組み 平成30年度からは建設工事を行い、平成32年4月の供用開始に向けて事業を進めていく。		

●今後検討していく施策の検討状況（続き）

施策	担当課	検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業課に向けての今後の見通し及び問題点等
介護人材の確保	介護保険課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 高齢者が介護を要する状態になっても可能なかぎり住み慣れた地域で暮らし続けることが望まれているが、独居や重度の認知症、介護をする家族が事情を抱えているなど、在宅介護が困難な場合もある。特別養護老人ホームは入所希望者が多く、待機者の解消が課題である。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 特別養護老人ホームは平成30年4月時点で12施設（1087床）が整備されている。平成30年度から3か年計画の第7期介護保険事業計画において、特別養護老人ホームを新たに2施設（200床）の整備する予定。</p>		
空き家の適正管理及び活用	建築住宅課	検討中		<p>関係機関・部署 埼玉県建築安全課 くらし安心課、道路総務課、環境政策課、リサイクルプラザ、消防本部予防課、都市計画課、生活衛生課</p> <p>検討状況 空き家等の適正管理は、建築、環境、防災、都市計画、消防など、様々な分野から取り組む必要がある。そこで現在、市町村の担当課、関係機関・団体及び県の関係課等が必要な情報や課題を共有し、その解決に向けた対策を共同で検討するべく、埼玉県を中心に「埼玉県空き家対策連絡会議」を組織し、具体的な取組み方法等について協議を進めている。この連絡会議には専門部会として、所有者不明等の対応部会が設置されており、本市も部会に参加している。部会では、所有者不明等の事例についての対応方法に関して、他行政と検討をしていく。 また、庁内においては、空き家の実態調査を平成29年度実施した。これを受け、平成30年度、「越谷市空き家対策連絡調整会議」を立ち上げ、空き家等の措置に関する連絡体制を整えた。また、策定を予定している「空き家対策計画」の作成等に関する協議を行う協議会を7月に設置する。</p>	本市では、現在、NPO法人を中心に組織された「越谷市住まい・まちづくり協議会」による「空き家・空き室・空き地に関する何でも相談会」の開催を通じて、市民の個別相談に対する提案や物件情報の提供を行っており、引き続き当該協議会の一構成員として利活用の一助となるよう支援を行う。一方では、「埼玉県空き家対策連絡会議」における検討状況や県内自治体の動向を踏まえつつ、自治会の協力と外部委託による空き家等実態調査を実施することで実態を把握し、空き家等の適正な管理ができるような体制を強化し、利活用に関する施策のあり方についても、更に検討を進めていく。 平成30年度において、「空き家対策の推進に関する特別措置法」による「空き家対策計画」を策定していく。これをもって本市における空き家等に関する対策の方針が定まることとなる。
地域公共交通網の充実	都市計画課	検討中		<p>関係機関・部署 越谷市地域公共交通協議会（平成29年度は1回開催）</p> <p>検討状況 平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画に位置づけられている「大袋駅を発着とする路線」の開設に向け、大袋地区において、公共交通地区懇談会を開催（2回）し、バス停の位置等について協議を進めた結果、バス事業者により平成29年11月1日より大袋駅西口を発着とするバス路線が開設された。 市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成（ガイドラインの作成）に向けた市民の皆様への意見交換の手法等について調査・検討を行った。 【事業実施状況】 公共交通の利用促進を図るため、こしがや公共交通ガイドマップを更新し、市民の皆さまに配布・配架を実施するとともにバス利用者の利便性向上を図るため、バス停付近にある公共施設の既設駐輪場（8施設）をサイクルアンドバスライド駐輪場として位置づけた。 高齢者、障がい者、妊婦をはじめ誰もが快適に路線バスを利用できるようノンステップバスを導入するバス事業者に対し、補助金交付を行った（1事業者、3台） せんげん台駅における内方線付き点状ブロック整備を実施する鉄道事業者に対し、補助金交付を行った。（1事業者、1駅） 平成28年12月に公表された国の「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」中間とりまとめにおいて、ホームドアと内方線付き点状ブロックの整備を中心としたハード対策とあわせて「駅員等による対応の強化」や「旅客による声かけ、誘導案内の促進」などのソフト対策が求められていることから、埼玉県と越谷市及び鉄道事業者が協働して、越谷駅ホーム声かけサポート講習会を平成29年10月27日に開催した。</p>	形成計画では、市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成（ガイドラインの作成）の実施主体は、市であることから、ガイドラインの作成に向け、市内の鉄道や路線バスを利用しづらい地域において公共交通地区懇談会等を開催し、市民の皆さまと市の役割分担や受益者負担割合などの具体化に向け、引き続き、意見交換を実施していく。 その後、越谷市地域公共交通協議会において、当ガイドラインの作成に関する協議を行い、パブリックコメントの手続きを踏まえ、本市における新たな公共交通の導入に向けたガイドラインを策定する。 当ガイドラインの策定に関する課題としては、新たな公共交通の導入にあたり、市民、公共交通事業者、市の役割分担等について、明確にすることであり、公共交通地区懇談会や越谷市地域公共交通協議会を通じて協議を重ねていく。
更なる治水対策の推進	治水課	検討中		<p>関係機関・部署 国・埼玉県等</p> <p>検討状況 平成25年台風26号や、平成27年台風18号などの浸水被害の検証を行い、効果的な浸水対策を検討している。</p>	効果的な浸水対策について、河川管理者との協議を進めるとともに、事業化に向けた認可変更等の手続きを進める。 また、整備にあたっては、財源の確保などの課題があることから、全体整備計画を作成し、計画的に整備を進める必要がある。
道の駅の整備（再掲）	道路建設課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 平成28年度に、道の駅を設置するための基礎調査、平成29年度には、整備コンセプトや候補地エリア等を選定し、（仮称）越谷市道の駅基本構想の策定を行いました。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 道の駅整備事業の推進に向け、基本計画の策定、用地取得、整備の準備を進める。 国・県における補助金等の活用や整備及び管理運営を含めた積極的な民間活力の導入の検討に取組む。</p>		

3 総括

具体的施策に設定したKPIについては、37のKPIのうち、計画通りに進捗しているものが29、計画より遅れているものが5つ、平成27年度で事業が終了しているものが3つであり、事業が実施されているもののうち、80%以上が計画通りに進捗していることから、事業の取組は着実に進捗していると考えています。

また、基本目標に設定した数値目標については、進捗率には表れていないものがありますが、具体的な施策は概ね着実に進捗していることから、目標達成に向けて着実に進捗しているものと考えています。

さらに、今後検討する施策についても、15施策のうち7つの施策で事業展開が進み、総合戦略の取組が進捗しているものと考えています。

なお、人口については、平成72(2060)年に人口約29万7千人の人口維持とする越谷市人口ビジョンの目標推計値と実績値を比較したところ、平成30年度の推計人口33万8,749人に対し、実績値が34万1,095人(2,346人増)となっています。

今後についても、目標値を上回るような人口維持に向け、事業の取組を推進していきたいと考えています。

【参考】

4月1日現在人口

区分別人口	平成27年		平成30年				実数-推計 (人)
	実数(人)	構成比(%)	推計(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	
総人口	334,693	-	338,749	-	341,095	-	2,346
年少人口(0~14歳)	45,127	13.5%	44,668	13.2%	44,758	13.1%	90
(再)学齢前(0~5歳)	17,571	5.2%	17,106	5.0%	17,359	5.1%	253
(再)小学生(6~11歳)	18,143	5.4%	18,435	5.4%	18,321	5.4%	▲114
(再)中学生(12~14歳)	9,413	2.8%	9,127	2.7%	9,078	2.7%	▲49
生産年齢人口(15~64歳)	211,827	63.3%	210,534	62.2%	212,168	62.2%	1,634
高齢人口(65歳以上)	77,739	23.2%	83,547	24.7%	84,169	24.7%	622
(再)前期高齢(65~74歳)	46,672	13.9%	44,907	13.3%	45,219	13.3%	312
(再)後期高齢(75歳以上)	31,067	9.3%	38,640	11.4%	38,950	11.4%	310
(再)超高齢(85歳以上)	6,344	1.9%	8,034	2.4%	8,058	2.4%	24